



## 地域の方との対談

1月に、地域の方々との対談を行いました。参加していただいた方は、桜台地区コミュニティ協議会の会長 宮崎康人様、同副会長 滝内秀昭様、大池津由美様、本校 PTA 会長 柴田和雅様の4名です。皆様、本校の学校運営協議会の委員として、学校を支えていただいています。



【校長】コロナ禍において、様々な活動が制限される中、地域の皆様や PTA の皆様が、できることをやろうという熱意を感じています。皆様の思いを知り、それを「学校だより」で発信し、多くの方に知ってほしいと思い、この対談を企画しました。まずは宮崎さんから、会長としての立場からおうかがいしたいです。

【宮崎さん】これまで地域の高齢者の方々は、子どもたちの接点を持つことで、関係が密になり親しくなってきました。そこに「生きがい」が芽生え始め、子どもたちを大切にしたいという高齢者の思いにつながっているように感じます。コミュニティとして、この接点を大切に、子どもたちにとって楽しい活動、雰囲気作りを進めていきたいと思っています。桜台フェスティバルもそのような思いで開催し、食べ物を提供することはできませんでしたが、多くの子どもたちに参加してもらえました。

楽しいと思える活動を今後も続けていきたいです。

【校長】滝内さん、地域の方から学校への思いを聞かせて下さい。

【滝内さん】コロナで、学校と地域の接点が希薄になってきたと思います。祭りもできなくなりました。地

域と学校、それぞれの点と点を結ぶ線がないと感じています。しかし、今はデジタルで、学校だよりやホームページを通じて知ることができます。新たなすりあわせをする時期かと思います。

【校長】大池さんは、祭りやさくらっ子食堂等、様々な企画を立案、実施されています。その原動力を聞かせて下さい。

【大池さん】人は人とふれ合っている方がいいと考えています。桜台地区に来たとき、お祭りを手伝うきっかけがあり、「自分はこんなことが好きでやりたいことだ」と感じました。今までいい人たちと出会え、声をかけたら手伝ってくれる人がいて、参加したら楽しいことがありました。今の活動は、自分のため、生きがいになっています。勉強は学校で、楽しいことは地域でやっていけたらと思っています。

【校長】子どもたちの安全、安心について、保護者、PTA の強い思いを感じます。柴田さんは PTA 会長として、自ら、朝や放課後、門で立ち番を行っていただいています。

【柴田さん】PTA 活動を通じて、PTA、学校、地域がこんなにつながっていたのかと感じました。会長になるにあたり不安でしたが、今はやって良かったと思っています。地域の方々は、何でも親身に相談にのって下さいます。やるからには、自分も PTA を楽しみたいですし、できるだけ子どもに顔を覚えてもらいたいと思っています。

この紙面には書ききれませんが、皆様の熱い思いをうかがいました。

登校時の見守り、旗当番、畑をお借りしての苗の植え付けや収穫体験活動等、地域の方、PTA の方には様々なところで、支援をいただいているところです。

私はこの対談で、「子どもたちのために」「生きがい」という2つの言葉が心に残りました。

今後、「社会に開かれた教育課程」「地域とともにある学校」が求められています。今ある取組を大切に、三者の顔が見える関係を築き、何よりも「桜台小学校の子どもたちの幸せの実現」を合い言葉に、コミュニティスクールを推進していきたいと思っています。

今後どうぞよろしくお願いいたします。